

令和4年度事業報告

渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団は、渡良瀬遊水地及びその周辺地域において、良好な水辺空間の形成を図るための自然観察施設及び運動施設の整備・運営並びに環境保全のための活動、環境教育、調査研究等を行うことによって、環境保全とその利活用を推進することを目的としています。

令和4年度の遊水地への来園者は、コロナ禍以前の状況にほぼ戻り、財団として従来から蓄積してきた知見・技術を活かして、渡良瀬遊水地及びその周辺における環境保全及び調査研究事業、施設管理事業、運動施設事業を地域と連携・協力し実施しました。

1. 環境保全及び調査研究事業

①湿地植物の保全等の活動、環境教育及び遊水地への理解を深めるための活動

- ・ 遊水地内及び湿地園における貴重植物の保全・育成管理に努め、貴重種67種について年間を通して生育状況の調査を行いました。
- ・ 渡良瀬遊水地の自然環境を活かし、小・中学生を対象に動植物・歴史等をテーマとした環境学習の支援を実施しました。
- ・ 遊水地への理解を深めて頂くための活動として、体験学習や一般の方々への現地案内などを実施しました。
- ・ 環境・体験学習で学んだ成果を発表する「学習研究発表会」を実施しました。
- ・ 自然環境への理解を深めるための植物観察会を実施しました。
- ・ 夏休みの自由研究に役立てて頂く「夏休み宿題サポート教室」について、7月22日、23日に実施しました。
- ・ 自然環境保全のための「ヨシ焼き」は3月4日に予定どおり実施しました。
全体1,500haの内約80%の1,200haが焼却できました。

②渡良瀬遊水地の利活用・湿地植物保全等の調査研究及び広報

- ・ 貴重植物の保全・再生、生育環境の調査研究を実施するとともに、「体験活動センターわたらせ」、「湿地資料館」を活用し、渡良瀬遊水地の治水、利水、自然環境、利用等に関する情報提供、パネルの展示、ビデオ等による広報を実施しました。
- ・ 渡良瀬遊水地及び渡良瀬貯水池の目的・機能を利用者に広く周知するために、子供広場ゾーンとウォッチングタワーで春、夏、秋（2回）、冬、及び「道の駅かぞわたらせ」（通年）において、広報企画展としてパネル展示を実施し、子供広場ゾーンでは約1,900名の方が訪れました。

2. 施設管理事業

- ・ 安全に利活用できるよう貯水池周辺施設の点検、維持管理を実施(施設の補修・復旧、清掃、出水時のトイレの撤去等)するとともに自然環境や貴重植物に配慮した貯水池周辺の除草、植栽の剪定等の維持管理を実施しました。
- ・ 貯水池周辺の利用状況の把握、利用者への指導及び利用のための施設管理(ゲート管理、利用施設の清掃、貯水池周辺の塵芥処理、トイレの清掃・点検等)等貯水池周辺施設の保全業務を実施しました。

3. 運動施設事業

渡良瀬カントリークラブの運営管理を行い、利用者の健康増進を図りました。

今年度の利用者は、コロナ禍以前の状況にほぼ戻りました。

一方、平成27年頃から遊水地内に生息が確認されているイノシシが、コース内の芝を掘り起こす被害が頻発するようになり、令和2年から箱わなを仕掛け捕獲を行っていましたが、令和4年11月からはフェアウェイが掘り返されるようになりコースを囲うフェンスを設置しました。